



旭川

秋田市立旭川小学校
令和3年1月12日
学校報 第43号

大雪の中、後学期後半がスタート

今日から後学期後半の学校生活が始まりました。

子どもたちは、コロナにも大雪にも負けることなく、立派にスタートを切りました。中庭の松も風雪に耐え見守っています。

これから学校は、3月の卒業式、4月の進級に向けて一年間で最も大事な「まとめ」と「準備」の時間に入っていきます。

今回の学校報は、本日実施した「放送による全校集会」の中から3人のメッセージを掲載します。ぜひ、お読みください。



中学校に向けて今年の目標

6年2組 M. M

コロナで休校になった昨年の春からもうすぐ一年です。わたしはコロナ禍の中、ある程度の勉強、運動はしてきたつもりです。また、アルコール消毒やマスク着用も、もちろんちゃんとやってきました。世の中では、経済の状況がきびしくなったり、外国では連日苦しい様子がニュースで伝えられていたりしています。振り返ると、かなり不安な毎日の中で過ごしてきた一年でした。そして、これから、わたしたち6年生は、中学校への覚悟を決めなくてはなりません。

わたしは、今年の目標を3つに決めました。1つ目。予習、復習を完べきにすることです。例えば算数はきまりを覚えること、漢字はできるだけ書いて頭にたたき込むことから始めたいと思います。2つ目。勉強面も大事ですが、楽しくやっていくということです。楽しくなければ意味がないと思うからです。とにかく、人生楽しくやりたいです。最後の3つ目。柔軟に生きるということです。だめだったらだめ、やりたいならやる、周りの固定観念にとらわれず、すきまをぬっていきような、すりぬけていきような、そういう意味での柔軟です。

これがわたしの今年の目標です。小学校残りの約40日。中学校へのスタートを意識して、この目標をがんばっていききたいです。

目標をもち、コツコツ頑張る

校長 加賀 一幸

新年あけましておめでとうございます。おはようございます。皆さん元気ですか。私は元気です。Mさん、貴方らしく、とても味わい深く、すばらしい発表、ありがとうございました。

いよいよ令和3年の学校生活が始まりました。みなさんはどんな冬休みを過ごしましたか。私は、外出を避け、家で映画をたっぷり観て過ごしました。皆さんも、多くの方がお家でゆっくりしたのではないのでしょうか。ところで、冬休み前のクイズで話題にした「初夢」を見ましたか。「一富士二鷹三茄子」を見た人はラッキーでしたね。私は今年も見せていません。

さて、今の学年のお友達と一緒に学校で過ごすのも、6年生はあと43日、1～5年生は、あと46日です。その短い日々の中で、「まとめ」と「準備」をしなければいけません。これからは一年間で一番の「勝負どころ」です。皆さん一人一人や、学級や学年の力が伸びる時です。

そこで大事なのが「目標をもち、コツコツ頑張ること」だと思います。私は「健康な体と明るい挨拶」を今年の目標にしました。私は、ひそかに体力作りに取り組みます。これまで以上に、笑顔で明るい挨拶をしていくように心がけます。ぜひ、皆さんも、目標をもって、自分なりにコツコツ頑張ってください。

また、「コロナ対策」も重要です。全員がマスクをしっかりと着け、ルールやマナーを守って、周りに迷惑をかけない生活を心がけていきましょう。みんなで声をかけ合って過ごしましょう。そして、Mさんが話したように、みんなで楽しい思い出たくさん作っていきましょう。

「厳しい冬」の後には、「希望の春」が必ずやってきます。生きるということは、決して簡単ではありません。つらいことや悲しいこともあります。しかし楽しいこともたくさんあります。大切なのは、自分で決めた自分の目標に向かって、しっかりと努力していくことです。そうすることで、きっと道は拓けます。すばらしい人生が、みなさんの未来には広がっています。そのための準備期間がこれから4月までの日々です。

一人一人が「命」を大切に、「おはよう」や「ありがとう」などの心を言葉で伝え合い、楽しく充実した令和3年の旭川小学校をみんなで創り上げましょう。

裏面に続きます。

次にすることを自分で考える

研究主任 本間 衛

今日からまた学校生活が始まりましたね。2021年の新しい年に、希望をもって頑張ろうとしている人がたくさんいると思います。そんなみなさんに今日は、こんなことも頑張っしてほしいなと思うことをお話します。

それは、「次にすることを自分で考える」ことです。

学校での生活は、勉強や当番、係の仕事など、いつも同じようなことを繰り返しているような気がしますね。そんな中でも、目標やめあてを自分で決めて頑張ることがとても大切です。なぜなら、みなさんが大人になって、自分の生きる道を見つけて、明るく元気に楽しく生きていくためには、「自分で考え」て、「自分で探し」て、「自分で決め」て、「自分でやる」ことが、絶対に必要だからです。学校は、それを練習する場所でもあります。今は、「次はこれをやりなさい」と、家の人や先生がやることを教えてくれているかもしれませんが、少しずつでもいいので、次にすることを自分で考えるように、頑張ってみてください。

ただ、そのために、大切なことがいくつかあります。まず、先生や友達、家の人など、まわりの人の話をよく聞くことです。よく聞かないと、すべきことを間違えてしまうかもしれません。約束やマナーをちゃんと知っていることも大切です。せっかく自分で決めて頑張ったのに、それが誰かに迷惑をかけてしまっていたら、相手も自分もがっかりしてしまいますからね。それから、時計を見ながら勉強や仕事をする 것도大切です。時間には必ず限りがあります。時間をどのように使うか、自分で決めて取り組むことができれば、とても素晴らしいと思います。

みなさんが、「次にすることを自分で考える力」を身に付けたら、先生方にはすぐに分かりますよ。だって、勉強道具やハンカチなどの忘れものをする人が少なくなるはずですから。それに、明るいあいさつをする人が増えて、反対に廊下を走る人や友達とけんかをする人が、ぐっと少なくなるはずですよ。みなさんが、明るく元気に成長し、力をつけていくことを楽しみにしています。頑張ってください。これでお話を終わります。

いかがでしたでしょうか。以上が、3人からのメッセージでした。下の写真は、話を真剣に聞いている1年生の様子です。



さて、秋田市は観測史上類をみない大雪に見舞われ、保護者の皆様もこの3連休などは除雪作業に追われたのではないのでしょうか。私自信も、気持ちを奮い立たせながら、除雪に精を出しました。また、近所の方々との助け合いが大切だと痛感しました。

本校は、加藤技能技師が除雪機をフル活用して対応しました。加藤技能技師は、いつも黙々と作業しており、学校の縁の下の力持ちとして頼りにされておりますが、今回の除雪のおかげで、何とか、今日の日を迎えることができました。

停電もありました。不自由な生活を余儀なくされた地域も多数あり、住民の方々には、途方に暮れたことと思います。体調を崩した方もいらっしゃるのではないのでしょうか。私が住んでいる地域でも短時間でしたが、電気が使えなくなり、大変心細い思いをしました。改めて、「電気」のありがたさや、いざというときの備え、ライフラインの重要性を再認識しました。

コロナ対応も不可欠です。緊急事態宣言が出されている地域のみならず、日本全体の問題として、一層の危機感をもって生活していくことが必要なのは言うまでもありません。

保護者の皆様におかれましては、コロナが収束するまでの間、お子さんが登校する際には、検温を中心とした健康観察のご協力と、マスク着用の声かけなどを、交通安全の注意喚起とともに、よろしくお願い致します。

これまでに体験したことのないことが連続した令和3年の始まりですが、職員一同、保護者の皆様と力を合わせて、お子さんの健やかな健全育成を目指し頑張っておりますので、どうぞ、よろしくお願い致します。